

1 1 情報

科目名	社会と情報	単位数	2 単位	学年	第 2 学年	科	普通科
						コース	全コース
使用教科書	実教出版「最新社会と情報 新訂版」			副教材		基礎からはじめる情報リテラシー	

学習の到達目標

1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
3. 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	1 章 情報社会とわたしたち 1. 情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・情報化の「影」について、高校生に身近な事例で理解する。 ・情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 ・情報の信憑性、信頼性について理解する。 ・ワープロソフトの基本的な操作方法を身に付ける。
	5	2. 情報とメディア ワープロソフトの演習	
	6	3. 情報モラルと社会のルール	
	7	ワープロソフトの演習	
二 学 期	9	2 章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の種類と特徴、インタフェースについて学ぶ。 ・デジタル化のメリットについて理解する。 ・音声や画像などのデジタル表現について理解する。 ・情報を伝達する際の留意点について学ぶ。 ・表計算ソフトへのデータ入力について実習で学ぶ。 ・発信者と受信者のコミュニケーションの分類について理解する。 ・回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 ・表計算ソフトを利用してデータの並べ替えなどができる。
	10	3 章 表現と伝達 1. 表現の工夫 2. 表計算ソフトの利用	
	11	4 章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション 2. ネットワーク	
	12	3 章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	
三 学 期	1	3 章 表現と伝達 3. プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 ・静止画、動画の利用効果について実習を通じて学ぶ。 ・ ・ ・コンピュータウイルスの種類やその対策について理解する。 ・企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 ・ ・ ・画像と音声の利用効果について実習を通じて学ぶ。
	2	4 章 コミュニケーションとネットワーク 3. 情報セキュリティ	
	3	3 章 表現と伝達 3. プレゼンテーション	

学習評価

1. 定期試験での成績に、課題の提出状況を平常点として加え、総合的に判断する。